

感情による音楽のプレイリスト作成システムの提案

野地保[†] 内田一哉[†] Rina Azlin[†] プティカルコット・ジャルワン[†] 平山守[†]

東海大学

1. はじめに

現在、我々の周りには様々な音楽があり、自分が欲しい音楽をCDショップやインターネットで手軽に購入することができる。これにより様々な音楽を聴くことができるが、例えば落ち込んでいるときにアップテンポな曲を聴きたい、失恋したときにバラードが聴きたいなどその時の感情によって聴きたい音楽や、音楽による感情への効果を求めて聴く音楽が変わると考えられる。また、最近では音楽の癒し効果による音楽療法⁽¹⁾⁽²⁾も医学的に進歩してきている。このような背景に基づき、本研究ではユーザーの疲労回復やストレス解消を目的とする音楽のプレイリスト作成システムを提案する。

2. 音楽の感情への作用

今回提案するシステムの特徴は音楽の感情への作用を利用することを目的とする。作用の仕組みは、音楽は音の流れとして進行するが、音の流れの中で速度・強弱・高低をはじめ、静寂など様々に変化しながら動いていく。音の流れの変化は1つの動きとして表され、感情の動きと類似していると考えられる。音楽の構造の動きが、感情の動きに合致するために、音楽は人の感情を動かすと言える。さらには音楽が聴き手の感情と一致しているとき、人はその音楽を快く聴くことができ、その結果、聴き手は感情移入することが可能となり、音楽に引き込まれていく。しかし、音楽には聴き手が感ずる感情以外の感情も存在する場合もある。このときは、聴いているうちにその感情に同化していくこともある。また音楽には、ある曲を聴いた際に昔のことやその時の感情を誘い起こす作用⁽³⁾もある。

現在では音楽の作用による心身へのリラックス効果も認められ音楽療法として医療現場でも使われている。ユーザーの感情に対応した曲を選択することにより癒し効果や満足感を与えることが可能である。

3. 既存のプレイリスト作成システムの問題点

すでにプレイリスト作成システムはいくつか存在するが、まず音楽の同じジャンルの曲を集める機能、次に再生した回数を評価基準として評価の高いものを選択してくれる機能⁽⁴⁾といった単純なものである。しかしこのシステムでは多数のユーザーにより合ったプレイリストは作成できない問題点がある。またユーザーの好きな曲をひとつひとつ選択して集めることによってプレイリストを作成する機能もあるが、この作業を毎回行うのは非常に手間のかかる作業である。図1に既存のプレイリスト作成システムの例を示す。

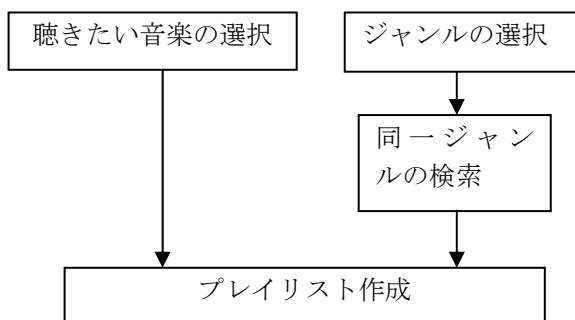


図1 既存のプレイリスト作成システムの例

4. 感情音楽プレイリスト作成システム

4.1 提案するシステムの構成

提案するシステムでは今までのプレイリスト作成システムの機能に加えて、ユーザーの感情に着目してその時の感情により聴きたい曲調に対応した曲を選択する機能を追加する。また音楽の感情を誘い起こす作用に着目して、昔の思い出の曲を聴くことができる年代に対応した曲を選択しリスト化する機能を追加したシステムを設計する。ユーザーのその時の感情によりあ

Proposal of a Playlist Making System of Music by Feelings

[†] Tamotsu Noji, Kazuya Uchida, Rina Azrin, Jarawan Puttikarukot, Mamoru Hirayama
Tokai University

ったプレイリストを作成することを可能とするシステム構成を図2に示す。

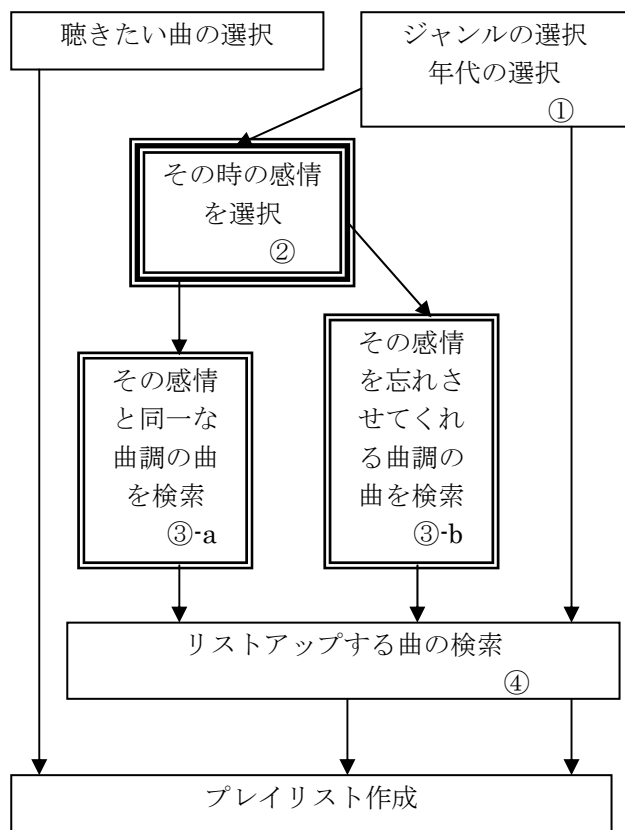


図2 提案するプレイリスト作成システム構成

4.2 システムの特徴

システムの特徴は以下の二つである。

- (1) ユーザーの感情を選択すると、その感情にひたるために同じような曲調の曲をリストアップ、もしくはその感情を忘れさせてくれるような曲をリストアップすることが出来る。また昔の思い出を思い返したい場合や、その時の感情を思い出したい場合にその曲と同じ年代の曲を選択することができる。
- (2) 既存のシステムの機能である同じジャンルの曲を選択する機能と、提案するシステムの機能を組み合わせても単独としても使用できる。

4.3 提案するシステムの流れ

新しく設計したシステムの「ユーザーの感情による選曲」の流れとしては、

- ① リストアップする曲のジャンルや年代を指定したい場合には、初めに選択しておく
- ② ユーザーのその時の感情を「喜び」「怒り」「哀しみ」「楽しい」の中から選択する

③ 曲調の選択

- a- 選択した感情と同じ曲調が聴きたい
 - b- 選択した感情を忘れさせてくれる反対の曲調が聴きたい
- のかが選択する

④ 適応した曲がリストアップされ、ユーザーの感情によるプレイリストが作成されるである。

5. 評価

提案するシステムの有効性を検証するための実験として既存のプレイリスト作成システムとこのシステムを被験者に使用して比較したアンケートをとった結果、癒し効果が得られ、ユーザーが満足していることが確認できた。

6. 結論

今回提案するシステムが実現した場合はユーザーが求めている音楽を集めたプレイリストを、よりユーザーの要望通りに提供することが可能である。また、今回提案するシステムで作成されたプレイリストを聞くことによりユーザーの期待通りの選曲による満足感、さらには音楽自体の人間の心身に作用する効果により癒し効果が確認できた。今後の課題は、音楽に対する好き嫌いは人によって異なり同じ曲を聞いたり歌ったり演奏したりしても、一つの曲が千差万別な受け取り方をされる、ユーザーの体調や状況によって曲に対する感覚が違って来る、などの点を改善していかなければならない。

参考文献

- (1) 小野田誠, 杉崎友, 野地保, “携帯電話を利用した香りによる癒し情報処理システムの提案”, 電子情報通信学会 2005 総合大会公演論文集, pp261
- (2) 田代智, 大澤貴彦, 後藤和之, 姚伶, シャンティ. B, 瞿江舟, 野地保, “心理状態に応じた癒し音楽配信支援システムの提案”, 電子情報通信学会 2005 総合大会公演論文集, pp249
- (3) 音楽療法入門 No.2
<http://piidesu.hp.infoseek.co.jp/ongakuryouho/unokiso2.htm>
- (4) iTunes あなたの好みにピッタリと合わせます。
<http://www.apple.com/jp/itunes/playlists/>